

「社会保障の解体は許さない！憲法まもりいかな社会をつくろう！！」
STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース
-介護の“Big Wave”を広げよう！-



3.23 介護ウェーブ国会行動 (国民運動部と合同)

**署名到達
152,495 筆**



3月23日(水)国民運動部と合同した介護ウェーブ国会行動を行い、14県連から57名が参加しました。

はじめに、山本淑子事務局次長、林泰則事務局次長より戦争法と、介護をめぐる情勢について報告を行いました。国会情勢報告では日本共産党の畠山和也衆議院議員より、各地で野党共闘がすすみ国民運動が広がっていることが強調され、これまで集まった11,485筆の介護署名を提出しました(署名到達は**152,495筆/3月22日時点**)。



議員要請は、戦争法の廃止、安全・安心の医療・介護の充実、介護保険法の改善等を求める3つの請願書をもとに要請を行い、**76名の国会議員を訪問し、6名の衆・参国會議員と面会**できました。今回の行動では、野党議員(秘書)は随分熱心に話を聞いてくれ、特に参議院の改選議員(秘書)からはいつも以上の緊張感が感じられた様子でした。



まとめの全体会では、「入職1年目以来の国会行動であったが、当時より随分と話を聞いてもらえた(東京)」、「私たちの活動・運動を通して世論を動かし国を動かしていかなければ、患者さん・利用者さんを救えない現状があると感じた。」(神奈川)、「野党でも財源についての考え方こそ違っていたが、共感するところもあり、(秘書から)野党統一候補力を貸してほしいと言われた」(山梨)、「県連で集めたアンケートをもとに利用者・家族が大変になっている現状を伝えた」(長野)、「若い職員たちが生きがいをもって働き続けられる介護の現場をつくるよう協力してほしいとお願した」(静岡)、「請願書を渡す時、今回初めて与党議員(秘書)が写真を撮らせてくれた」(滋賀)と各県連から感想が出されました。

最後に、高田一朗事務局次長から「今回の行動で、国会の状況が変わってきていると感じた方も多いと思う。こうした国会行動をはじめとした運動の積み重ねが国会へ反映されているところに、私たちは確信をもつべきである。今回参加した方々へは、地元へ帰って次の国会行動へ多くの職員を送り出すこと、または一緒に参加することをお願いしたい」と締めました。

感想文からも「戦争法、医療・介護の改悪など、自分たちの子や孫の世代に負の遺産を残してはいけぬ!」、「今回の参議院選挙では、私たちの要求を真摯に聞いてくれる議員を選ぶことの重要性を改めて感じた」など、この夏の参議院選挙の重要性を感じた国会行動となりました。

県連名	合計
北海道	3,141
青森	2,809
岩手	1,835
宮城	3,011
秋田	0
山形	7,868
福島	3,154
茨城	890
栃木	0
群馬	3,842
埼玉	8,019
千葉	2,504
東京	10,858
神奈川	6,507
新潟	1,265
富山	1,644
石川	2,445
福井	3,046
山梨	3,048
長野	5,045
岐阜	3,139
静岡	155
愛知	4,163
三重	496
滋賀	343
京都	6,886
大阪	13,066
兵庫	6,594
奈良	2,142
和歌山	1,599
鳥取	2,398
島根	1,653
岡山	6,537
広島	1,405
山口	767
徳島	1,307
香川	1,908
愛媛	5,127
高知	3,084
福岡・佐賀	9,681
長崎	2,203
熊本	1,497
大分	311
宮崎	1,419
鹿児島	2,087
沖縄	1,520
全日本	77
	152,495

4月20日(水)は社保協と共同の介護ウェーブ国会行動・厚労省要請を行います

※詳しくは通達(42)第ア-010号(3月25日付)をご参照ください。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：吉澤
 ☎03-5842-6451 / fax03-5842-6460 E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp